

## 平成 9 年度試験研究成果

区分	指導	題名	日本短角種産肉能力検定（間接法）成績		
〔要約〕 平成 8 年度に終了した日本短角種産肉能力検定（間接法）の結果、「敏富」及び「秋月」号の成績が優れていたため、人工授精用基幹種雄牛として選抜し、凍結精液を生産供給する。					
キ - ワ - ド	日 本 短 角 種	産 肉 能 力 検 定	間 接 法	畜産研究所 家畜育種研究室	

### 1. 背景とねらい

産肉能力検定（直接法）の成績が優れた種雄牛について、その産子を同一環境下で肥育し、増体量、飼料の摂取量、飼料効率、肉量及び肉質を調査し、遺伝的産肉能力を推定する。

### 2. 技術の内容

（1）検定種雄牛は 5 頭であった。

ア 若福：日増体量（DG）は 1.24kg、ロース芯面積は 49.1cm<sup>2</sup> と特に優れたが、脂肪交雑等級（BMS）は 0.52 と劣った。肉質等級は 3 が 2 頭、2 が 5 頭であった。

イ 敏富：DG は 1.22kg、ロース芯面積は 47.0cm<sup>2</sup>、BMS は 0.95 と特に優れた。肉質等級は 3 が 4 頭、2 が 3 頭であった。

ウ 秋月：DG は 1.19kg、ロース芯面積は 46.8cm<sup>2</sup> と特に優れ、BMS は 0.85 と優れた。肉質等級は 3 が 3 頭、2 が 6 頭であった。

エ 笹錦：DG は 1.14kg、BMS は 0.75 と優れ、ロース芯面積は 52.1cm<sup>2</sup> と特に優れた。肉質等級は 3 が 2 頭、2 が 6 頭であった。

オ 清岩：DG は 1.16kg と優れたが、ロース芯面積は 41.8cm<sup>2</sup> でやや劣り、BMS は 0.37 と劣った。肉質等級は 2 が 8 頭であった。

（2）5 頭の平均値は、DG 1.19kg、ロース芯面積 47.3cm<sup>2</sup>、BMS 0.69 であった。

S63～H7 年度終了分 39 セットの平均は、DG 1.07kg、ロース芯面積 42.9cm<sup>2</sup>、BMS 0.67 である。

（3）成績の優れた敏富・秋月を人工授精用基幹種雄牛として選抜、凍結精液を生産供給する。成績の劣った清岩は淘汰した。

### 3. 普及（指導）上の留意事項

（1）検定種雄牛の概要

名号	登録番号	生年月日	直接検定		血統			産地	
			年度	DG	父	母の父			
若福	本1212	H4. 2. 26	H 4	1.44	若花	（本 772）	清向875	（本 345）	山形村
敏富	本1214	H4. 2. 3	H 4	1.13	杉富	（本 685）	高光	（本 379）	浄法寺町
秋月	本1211	H4. 3. 9	H 4	1.29	秋蛇1315	（本 590）	沢清	（本 626）	玉山村
笹錦	本1225	H4. 3. 8	H 4	1.25	笹豊	（短高 7）	橋錦	（本 598）	釜石市
清岩	本1227	H4. 1. 17	H 4	1.34	清房	（本 604）	琴頼1019	（本 429）	山形村

（2）敏富の母牛は、超音波家畜生体肉質測定の結果、肉質が優れる（BMS 6）と判定された。

4. 技術の適応地帯  
日本短角種飼養地帯

5. 当該事項に係る試験研究課題  
〔肉用牛1〕1 - (3) - イ 日本短角種産肉能力検定(間接法)

6. 参考文献・資料  
(1) 日本短角種産肉能力検定検討会資料；農林水産省家畜改良センター奥羽牧場他，1997

7. 試験成績の概要  
表1 検定成績一覧

検定牛	若福 (n=7)	敏富 (n=7)	秋月 (n=9)	笹錦 (n=8)	清岩 (n=8)
開始時体重	259.8 ± 33.0	289.9 ± 31.5	270.9 ± 20.5	302.6 ± 16.1	292.6 ± 25.2
終了時体重	641.2 ± 41.7	664.8 ± 39.3	637.3 ± 52.7	652.4 ± 28.5	650.4 ± 27.3
D G	1.24 ± 0.08	1.22 ± 0.10	1.19 ± 0.20	1.14 ± 0.07	1.16 ± 0.06
1 kg増体TDN	6.13	5.72	5.69	6.07	6.07
屠殺直前体重	608.4 ± 40.7	629.0 ± 33.8	599.4 ± 47.3	622.3 ± 26.3	612.5 ± 24.8
冷屠体重	378.3 ± 27.8	399.6 ± 24.1	379.6 ± 29.9	394.0 ± 18.3	380.0 ± 13.8
枝肉歩留	62.2 ± 1.6	63.5 ± 1.2	63.3 ± 1.2	63.3 ± 0.6	62.1 ± 1.3
口一ス芯面積	49.1 ± 2.9	47.0 ± 3.3	46.8 ± 5.8	52.1 ± 5.6	41.9 ± 2.2
皮下脂肪厚	2.2 ± 0.4	2.6 ± 0.4	1.8 ± 0.4	3.2 ± 1.2	2.5 ± 0.5
脂肪交雑	0.52 ± 0.18	0.95 ± 0.29	0.85 ± 0.41	0.75 ± 0.43	0.37 ± 0.12
推定歩留	73.2 ± 0.6	71.9 ± 0.6	72.7 ± 1.0	72.9 ± 1.5	72.2 ± 0.7
枝肉格付	A3(2) A2(5)	A3(1)B3(3) A2(2)B2(1)	A3(3) A2(4)B2(2)	A3(2) A2(4)B2(2)	A2(5)B2(3)
肉質等級 3以上割合	28.6%	57.1%	33.3%	25.0%	0.0%

$$(\text{枝肉歩留}) = ((\text{冷屠体重}) / (\text{屠殺直前体重})) \times 100$$